



カラード志は仁なり——韓国を歩く——

巻頭言●かつての親しい友に還ろう

黒田

武志

特集●韓国仏教の現状と今後の展望

鎌田

茂雄

●韓国仏教との出会い

佐藤

俊明

カラード韓国ふれあいの旅

島

玄照

連載●くらしの中で読む「正法眼蔵」

小倉

照

留学記●はじめてのインド国内旅行

岩

岩

●水の都スリナガル

阿部

慈園

●シク教の祈り

保坂

俊司

●小さな訪問者たち

清水

晶子

●クリシュナ・ムールティ神像のこと

及川

弘美

第六回派遣僧入選論文

及川

弘美

善光寺だより

駒澤

晶子

読者からのお便り

駒澤

晶子

善光寺だより

駒澤

晶子

カラード善光寺だより

駒澤

晶子

題字・グラビア・さし絵

カット
写真

古刷仏集より

伊藤三喜庵
駒澤晃

143 138 101 97 92 88 84 71 63 59 35 22 18

かつての親しい友に贈り

法隆寺の大宝殿にある、あの長身瘦軀の美しい姿の白濟觀音は、その名の示すとおり白濟の國から伝えられたものともいわれるが、朝鮮半島は、仏教をはじめとして大陸文化を伝え、わが国古代文化の形成に大きな影響を与えた、いわば先輩格の國だつたのである。

ところが、日本列島の脇腹に短刀を突きつけたような朝鮮半島という地形からみると、大陸の南下する勢力を阻止する国防上の重要拠点といつゝことになり、文化の交流とは逆に侵攻にそなえた防波堤としなくてはならなくなる。往昔のことばともかくとして、明治六年の征韓論からはじまって、明治四十三年の日韓合併条約の締結はまさに朝鮮半島を犠牲にした日本の国家安全保障政策だつた。

いつして、日韓両国は、救い難い不幸な、ゆがめられた間柄となり、一衣帶水の地にありながら、遠い遠い国になってしまった。

最近よつやく両国の国貼のひつも解けはじめた。そして過般の

韓國盧大統領の来日と天皇陛下のお召葉にひつて、今後は眞に親しい隣人、隣国となるであらう」と考へるとおりといふにひつてせしむ限りである。

さて、わが善光寺海外留学僧派遣育英会は現在、韓國の方、五人じび縁を結んでいる。あなた一二名は韓國から日本へ、一名は日本から韓國へそれぞれ留学中である。ほかに留学を了えた一名は日本ソウルに在つて活躍中であり、過般来日して佐藤老師に就いて在家得度の式を挙げた。

ひつしたやさやかな日韓仏教交流の歩みの中で、四月中旬、はしなくも訪韓の機会を得た。これはほんとうに有難い、有意義な旅だつたし、これを契機に、育英会の活動を通して日韓仏教の相互交流に微力を捧げたい決意を新たにした。それで今回は、韓國仏教を特集した次第であり、ぜひ一読をお勧めするのである。

近くて遠い他人を近くで親しい友とお互い努力いたしましよ。